



The Kobecco Blue Mer  
14th  
MIEKO MATSUO

●月刊神戸つ子第14回ブルーメール賞  
選考座談会《文学部門》

# ロートレアモンと ランボー論の まつおみえこ 松尾美恵子に

足立 「崖」の最近号に載った若いころの日記というのを読みましたが、なかなか変った体験をもった人ですね。

小島 若いときからの年期の入った書き手で、ブルーメール賞というより、もう一つ大きなところをねらえる人だと思います。

島 有岡佐代子は本年度の神戸女流文学賞でも最終候補作六篇のなかに残った人ですね。しかし、作品としては「渡河」3号の「風と街と」の方がいい。

足立 私も同感です。ただ女流文学賞の方の作品もふくめて、もう一つ切れ味がよくない。

小島 そう。なにか迷っているところがありますね。

島 材料はいろいろ持っている人のようだから、将来に期待することにしてはどうでしょう。

小島 賛成です。

島 「芸芸淡路」の二人もがんばっていますね。一〇号の北原の「丹南のひかり」、石上の「地球儀をくれた女」、どちらもいい作品です。足立 北原のはこれまでの作品も

## ★「決め手」に欠ける小説

編集部 過去の受賞者は、別にリストアップしておきましたが、今回は散文ということで選考をお願い致したいと思います。諸先生方から次の方々が候補として推せんされています。順不同で申し上げますと、柏木薫（「崖」同人）、北原文雄、石上稔（いずれも「芸芸淡路」同人）、有岡佐代子（「渡河」同人）、以上は小説で、今回は評論の方で初めて松尾美恵子（「たうろす」同人）が推せんされています。

島 柏木はもう古い書き手で、これまで中央の芸芸誌に作品が掲載されたこともありますね。

小島 そうです。それから、昨年度大阪で創設された第一回織田作之助賞で、「誰もいない海」という作品が佳作二篇のうち的一篇に選ばれました。ただこれはまだ活字になっていない。

□選考委員□



島 京子  
＜作家＞



小島 輝正  
＜神戸大学名誉教授＞



足立 巻一  
＜詩人＞

なかなか書き馴れていて、もう一家をなしていますね。

小島 そうですね。ただ、いささか古めかしい情緒派というところがある。私はどちらかといえば石上の方をとります。カルマ君という、ちよっとトボけたような主人公の持味がなかなかいい。

島 どちらもそうだけど、もう一つ未整理で、透明度に欠けるところがありますね。

足立 そう。どこかギクシャクしたところがあって、読後感がすっきりしない。

小島 それは大きなことですね。やはり一つの流れ、というか一定のリズムが作品を一貫していなければならぬ。その点で私にも不

満が残ります。

★初めて評論から受賞

島 松尾はまだ若い人でしょう。

小島 三〇なかばだと思えます。

これまでのブルーメール賞の散文部門が全部小説なので、たまには評論の方にも視野をひろげていいのではないかと思って、あえて推せんしたのですが。

足立 評論をも対象にするというのは大いに結構なことだと思いますね。文学賞というとかく小説に偏るのは問題です。

島 ランボー論とロートレアモン論で、評論といっても、フランス文学の専門の論文に近いようですが、同じ仏文の小島さんとしての評価はどうですか。



「ロートレアモンの論理」と「ランボー《ある地獄の季節》構成論」

小島 狭い意味での本当の専門家からみれば、かなり独断的な解釈を含んでいると思います。とくに

かく徹頭徹尾独学で、しかもこの若さでこれだけの本を書いて、それを自力で出すというのは大した根性です。敢闘賞には十分値すると思いますね。

足立 同感ですね。こういう若い人を元気づける意味でも今回は松尾を選んでいいんじゃないでしょうか。

島 私も賛成です。ブルーメール賞は他部門との釣合いからいっても若い人がいいでしょう。

小島 小説はなかなか若い人にはむずかしいのでむりもないのですが、神戸にはとくに若い書き手が少いのが残念ですね。

島 小説の同人雑誌そのものが神戸には少いですね。

足立 若い小説書きを育てることも考えなければいけませんね。

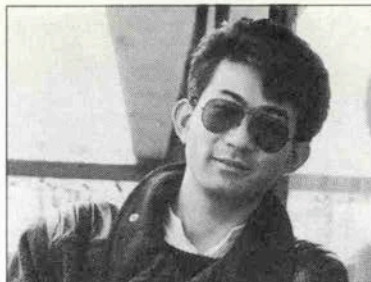
小島 本場にそうですね。

△文中敬称略▽

●受賞者メモリアル

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 中村 隆  | 8. 桜井 利枝  |
| <詩>      | <小説>      |
| 2. 鄭 承博  | 9. 梅村 光明  |
| <小説>     | <詩>       |
| 3. 小泉八重子 | 10. 吉保 知佐 |
| <短歌>     | <小説>      |
| 4. 福元 早夫 | 11. 季村 敏夫 |
| <小説>     | <詩>       |
| 5. 三宅 武  | 12. 福岡 勝利 |
| <詩>      | <小説>      |
| 6. 秋吉 好  | 13. 時里 二郎 |
| <小説>     | <詩>       |
| 7. 江頭 越子 |           |
| <詩>      |           |





The Kobeco Blue Mer  
14th  
MITSUHIRO SHIRAHA

●月刊神戸つ子第14回ブルーメール賞  
選考座談会 《舞台芸術部門》

# 「セピアタウン」の 若さあふれる才能で 白羽弥仁に

したね。

岡田 太田タマコが昔屋でプロデュースした「薔薇葬」がおもしろかった。演劇性というよりも、造形の美しさがよく生かされていていま

佐野 着実に成長しているのが能の久田徹二。明石で演った「一角仙人」が良かった。

名生 古典でありながら、スーツと踊っているのがいい。

岡田 貞松・浜田バレエ団も若手が育ってきたし訓練がいき届いているのは見事ですね。

名生 舞台数を踏んでいますね。このバレエ団には、正統的なクラシックだけを演り続けて欲しい。佐野 東京、大阪を観ると、神戸のバレエはレベルが高いですね。

岡田 モダンバレエの合同公演の「平家物語」、男の世界の中の女性像という本質が描き切れなかった。男が出てくる場が薄くて…。

佐野 まだモダンバレエは衣装で見えるものがあつたが、日舞の「平家物語」は良くなかった。それより、竹本越路大夫の素浄瑠璃の会、「良弁杉」は良かった。

## ★多彩な舞台の動き

佐野 昨年度の舞台芸術部門での動きを見ると、非常に審査の厳しい神戸市の「市民文化奨励賞」を加藤きよ子を受賞したのが大きい。

岡田 ただ、一つだけ私からの注文は、賞を貰った後の舞台は、どんな小品であっても大事にしなければいけないということ。これを心がけてほしいんです。

佐野 もう一つの話題は学生監督白羽弥仁の撮った映画「セピアタウン」。ラストのボールを受け取るシーンはなかなかのもの。既製の真似ではない新鮮な感覚だ。

岡田 上品な神戸弁と、風景のとらえ方が良かった。街が好きでなければあのアングルは出てこない名生 松本尚蒔が「大阪文化祭賞」と「日本芸能大賞努力賞」を受賞した。彼女にはもう一步トンネルを抜けて欲しい部分があるので、これを励みに頑張つて欲しい。

## □選 考 委 員□



名生 昭雄

<兵庫県立宝塚北高校教頭>



岡田 美代

<演出家>



佐野 健策

<神戸新聞厚生事業団理事長>



アンルイスに演技をつける白羽監督(上) ミアルパトロス、での撮影(下)

名生 琵琶は柴田旭堂の頑張りがすごい。上原まりは琵琶の音はいいが、発声法がまだまだ及ばない。佐野 舞台装置は、シアター・ポシエットの「今を踊る——演歌で踊る恋」で佐名手 実が作った新聞を吊した装置がおもしろかった。岡田 退廃的な雰囲気が出ていたね。あの舞台は加藤きよ子が森進一の演歌に惚れ込んでとうとう舞台にしたんですが、髪型がいけません。いつもの形ではネエ。名生 「近松心中物語」でも森進一の歌を使っていたし、二番筋じという感じはぬぐえない。佐野 もっともっと独創的に、実験した方がいいと思うね。名生 大野伸二とか「劇団神戸」

の若手がぼつぼつ育ってきたようだ。秋の芸術祭で、神劇—廻り舞台として、神戸の劇団がまとまった形になったのは進歩だと思う。佐野 市民に良い物を観せる機会なのだから、既製のものと呼ぶだけでなく、新しい舞台を作らないと。岡田 「四紀会」の「雨になるらむ風になるらむ」は、ていねいな作り方で良かったけれど、台詞の神戸弁がひどかった。名生 不正確でした。下町で育って本物を知っている強味をそのまま出せばいいのに、変に作ってしまう。佐野 台詞の基礎的な訓練ができていない舞台人が多い。

岡田 「劇団青い森」の森もりこが、女性が選んだ美しき男達シリーズで「二葉亭四迷」「吉田松蔭」を取り上げ、頑張っていますね。佐野 こうしてみると全体的に小粒だね。その点白羽弥仁は才能を感じさせる。

名生 舞台で抜き出したものがあったですから、映画も舞台芸術部門に入れてもいいですね。

佐野 「神戸の美しさは雀色の夕暮れ」というあたり、よく知っていますね。テレビのホームドラマ風でない、あっさりとしたアングル・カットが良かった。

岡田 台詞の受け渡しもきれいだし。人生経験とか、屈折したものがなければ、本当の「情」とかは出ないと思っていましたが、全然違う世界で素晴らしいものがあるということをやこの映画で発見しましたね。

佐野 今回は20歳の才能、白羽弥仁にブルーメール賞を決定しました。よう。

△文中敬称略▽

# ●受賞者メモリアル

- |          |            |
|----------|------------|
| 1 花柳芳恵一子 | 8 藤井 徳三    |
| <邦舞家>    | <能楽師>      |
| 2 若柳吉由二  | 9 海野 光子    |
| <邦舞家>    | <仮名手庵 歌舞伎> |
| 3 吉井 順一  | 10 コメディ・ド・ |
| <能楽師>    | フーゲツ       |
| 4 花柳芳五三郎 | <演 劇>      |
| <邦舞家>    |            |
| 5 花柳 吉叟  | 11 加藤きよ子   |
| <邦舞家>    | <モダンダンサー>  |
| 6 藤間緑寿郎  | 12 藤田 佳代   |
| <邦舞家>    | <舞踊家>      |
| 7 尾上 菊見  | 13 花柳五三輔   |
| <邦舞家>    | <邦舞家>      |





The Kobecco Blue Mer  
14th  
K. F. J.

●月刊神戸っ子第14回ブルーメール賞  
選考座談会《ファッション部門》

# 神戸の生活文化を 若い力で創造する 神戸市家具青年部会に

★変化しつつある

ファッションショー

森本 「ファッション都市神戸」を提唱し続けて10年を迎えるんですが、これからの神戸の街を支えるべき個人・団体となると。

小泉 神戸ワールドが行なったワールド記念ホールオープニングセレモニー「コスモポリス」は、ポータイランドの持つ未来性を象徴して面白かったですね。

藤本 ファッションショーとして期待していた方が多かったんですが、ショー以上に「動き」を感じましたね。ただ、私は山本寛斎のショー（寛斎元氣主義）なんかを見ていてファッションショー自体の形式が変わってきたといえますね。

福富 ファッションの場が異様に広がってしまった、専門家のショーとして見せるものと、イベントとしてみせるものの二極性になり

□選 考 委 員□



小泉美喜子  
＜本誌副編集長＞



藤本ハルミ  
＜デザイナー＞



森本 泰好  
＜神戸地下街特専務＞



福富 芳美  
＜神戸ドレスメーカー学院々長＞

ましたね。神戸は、やはり、ファッションとしての質のよさを重視したショーを中心に進んでほしいですね。

小泉 初めて、商工会議所が中心となって民間の手で催した「神戸トータルファッションフェア」(KTF)は、十万人のお客を呼び、神戸らしい催しになりましたね。

森本 あれの残念だったのは、出品側・見る側共に「トータル」の意味がわかっていなかった。

福富 筋を通して、真面目にやっていたのはよくわかりました。

森本 もっと「売る」気も必要ですね。

小泉 KFM・KFCの合同ショーというのもありましたね。

藤本 私はKFMで参加したんですけど、半分半分それぞれに変化があつてよかったと思っています。森本 いい意味でも悪い意味でも、お互いのよさが明快に出た感

じがしますね。次元が違うので対象にはなりません。

小泉 いろんな成功例や、多くの見直し点の出できた神戸トータルファッションフェアは、ファッション都市神戸の、一つの核になる催しになったと思いますので、ぜひ積み重ねて名物に。

森本 そりや初めてのことなので不慣れな点もありましたが、何事も積み重ねですから。今度やるならPRもばっちりやってほしい。でも、神戸にとっては画期的な行事でした。

★激励こめ神戸市家具青年部会に森本 「灘五郷酒造組合」が、KTFで優勝しましたが、伝統文化の「酒」を現代風にアレンジし

て、サケカクテルの「サムライ」を上手くアピールしていただきましたね。それから真珠振興会の人々もよく頑張っていましたよ。

小泉 働シャルレの林宏子常務が84年に「ボーグ・ランジェリーの歩み」を、また新春に「マイ・ボーグ」を訳出。注目された。

福富 大里最世子も、毎年ショールを開いて頑張ってる。それから神戸大丸の「ジバンシイ」ショールも、本格的なオートクチュール作品で長く続いている。

藤本 染色の白石弘子のグループ展も、なかなか楽しかった。

小泉 彫金作家も少しずつ目立ってきていますよ。木下パールで個展を続ける神田宏とか、菅屋の藤

田ジュリオとか……。

森本 街づくりでは、なんていったってポートアイランドのファッショントウンに各企業が進出してきたということです。建築文化賞では、ほとんどがファッショントウンにある建物でしたから。

小泉 若手が結集しているというのでは、神戸市家具青年部会が一番に挙げられます。一昨年、神戸市経済局と共催して開いた「第一回神戸洋家具フェア」が、マスコミにも話題を呼びました。それから昨年には、20周年記念誌も発行しました。これからの業界のリーダー達の活躍は喜ばしいですね。

森本 「激励する」というブルーメール賞の本質からいえば、神戸市家具青年部会の若手にこの賞を贈りたいですね。

藤本 私もそう思います。生活文化をファッションと呼ぶ神戸にとっては、手づくりの神戸家具の若手グループにぜひあげたいですね。

△文中敬称略▽

#### ●受賞者メモリアル

1. 藤本ハルミ  
＜服飾デザイナー＞
2. 米田 博司  
＜神戸市心身障害福祉センター＞
3. 市野木江充子  
＜ニットデザイナー＞
4. KJTC  
＜コウベジュニアテラーズクラブ＞
5. 太田タマコ  
＜アートフラワー＞
6. KFS  
＜コウベファッションソサエティ＞
7. 「真珠の街・神戸」を考えるプロジェクトチーム  
＜パール＞



上/コウベ・ファッションファニチュアフェア(於さんちかインフォメーションコーナー) 下/20周年記念誌出版記念パーティー(於生田神社会館)





The Kobecco Blue Mer  
14th  
NORIAKI TAKEDA

●月刊神戸つ子第14回ブルーメール賞  
選考座談会 《美術部門》

# アート感覚で 街を創造する 武田則明に

たけだのりあき

## ★活動は活発だが 実力者不在の若手

赤根 僕はまず中央区江戸町にア  
トリエを作って、アートナウにも  
2年連続で出展した杉山知子を候  
補に推奨したいね。

増田 彼女の今後の活動は注目に  
値するよ。それから、アートナウ  
に2年連続で出展したのでは椿昇  
も順調だね。ポートアイランドで  
開かれたKFA主催の「KOB  
E W I L L '84」のミニメント作成  
幼稚園にも作品を残すなど精力的  
に文化活動してるし、関西だけで  
なく、東京西武百貨店での「現代  
美術展」への参加などで関東でも  
名前が認識されている。

赤根 田中薫、宮崎豊治もひんぱ  
んに個展を開いているね。シテイ  
ギャラリーで個展の松井憲作もガ  
ンパっている。彼はコンセプトが  
しっかりしているのでこれからが  
楽しみだ。

## □選考委員□



草野 拓郎

＜神戸新聞学芸部＞



増田 洋

＜県立近代美術館館長補佐＞



赤根 和生

＜美術評論家＞

草野 僕は細胞の断面図のような  
大変細かい仕事でエンバ賞にも何  
回となく入賞した森本菊子、具象  
画の野口益代、ギャラリー北野坂

で珍しい七宝の作品を見せた小野  
真須美が印象に残っているなあ。

他に東門画廊で精力的に個展を開  
いた田中徳喜は作品にポップア  
ーの遊びがでてきた。奥田善己は  
現代美術センター大阪で大きな作  
品を発表したし、二紀会の抽象画  
家、大西敏己もサンバル市民ギヤ  
ラリーで繊細で詩情性のある作品  
を提示し今後期待できそうだ。う  
ろこ美術館の岬和男、ギャラリー  
萌の藤原昭三もおもしろかった。  
またダイヤモンドギャラリーで個  
展の森本博は、木版と思えない実  
に線の細い作品でももしろい感性  
を表現していた。彼もこれからの  
びていくだろう。

増田 僕は、建築家武田則明が海  
文堂ギャラリーで催した個展を高  
く評価したい。あの展覧会はきわ  
めついていたね。自分の建築物の  
創造過程を実にわかりやすく見せ  
てくれた。僕は造形美術にとって

最大の収穫だと思うよ。他に柳瀬修次郎も最近力をつけてきた。忘れてならないのが、ドイツで活躍している植松幸二だね。彼は昨年京都と東京で個展を開いたのだがその時示したイメージがドイツへ帰ってから大きく広がった。今までの彼の仕事が洗練され、さらに色が豊富になってきた。日本に帰るたびに注目しないでいられない存在になっている。ぜひとも神戸で展覧会を開いてほしい。しかし昨年は「老人パワー」が目立った市野弘之の大作展、中川安一の教職40年の成果展など精力的だった。芸術界も社会全体が高齢化社会になりつつあるように老人社会になっているのかなあ(笑)。

赤根 若い人の仕事は表面は活発に見えるけれど収穫は少ないね。

★異色のアーティスト

武田則明に受賞決定！

増田 このあたりで候補者を絞ってみたいね。

赤根 杉山知子、田中薫、松井憲作、椿昇を最終候補に残したい。

草野 僕は、田中守、森本菊子、岬和男、大西敏己、野口益代、こん

なところかなあ。

増田 椿昇は今が一番充実した時じゃないだろうか。

赤根 松井憲作は来年になるとかすんでしまうと思うね。

草野 田中薫は過去何度となく賞を受賞するチャンスがあった。

しかし、今年だからという大きな

個展をしていない。

赤根 こうしてみると決め手不足

今年は誰も受賞できないのでは。

増田 僕はあくまでも武田則明を

推したい。彼は山口牧生のアトリエを作るなどいい仕事をたくさんしている。彼の建築のセンスはい

いものを持っているよ。

赤根 建築家はこれまで一人も賞をもらっていないし、海文堂ギャラリーで個展を開いた直後だし彼でいこう。

草野 建築に対する芸術的評価は一般的に低いでしょう。それを少しでも高めるためにも、彼に賞を

与えるのに賛成します。

赤根 ぜひとも彫刻家と一緒にスクラムを組んで芸術性の高い作品

を後世に残してほしい。

草野 彼の受賞は彫刻家にもいい刺激になりますよ。きっと。

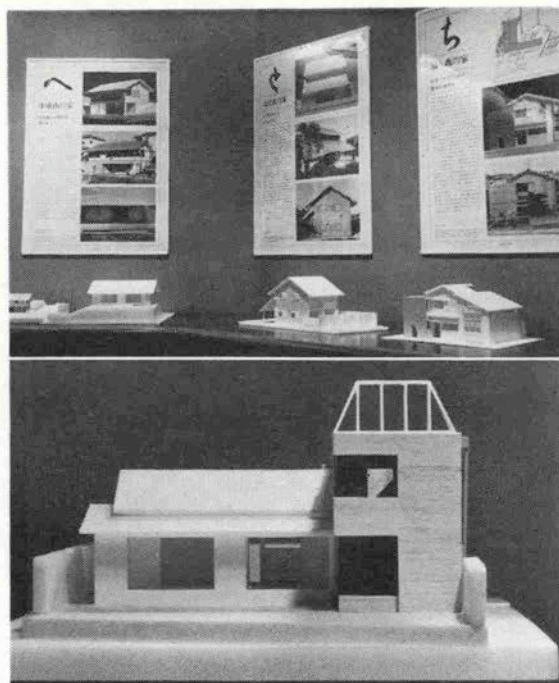
増田 では、全員一致で今回の美術部門は建築家、武田則明に決定

いたしましょう。

△文中敬称略▽

●受賞者メモリアル

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 山口牧生<br>＜彫刻＞ | 8. 堀尾貞治<br>＜造形＞   |
| 2. 丸本 耕<br>＜造形＞ | 9. 榎 忠<br>＜造形＞    |
| 3. 小西保文<br>＜洋画＞ | 10. 松谷武判<br>＜版画＞  |
| 4. 藤原向意<br>＜版画＞ | 11. 木下佳通代<br>＜平面＞ |
| 5. 斎藤 智<br>＜平面＞ | 12. 宮崎豊治<br>＜造形＞  |
| 6. 鄭 相和<br>＜洋画＞ | 13. 藤原志保<br>＜平面＞  |
| 7. 山本文彦<br>＜洋画＞ |                   |



海文堂ギャラリーでの個展より



# 昭和60年を 新緑化元年に

□出席者□（順不同・敬称略）

土井 芳子

〔神戸市婦人団体協議会会長  
神戸グリーンフェア実行委員理事〕

吉永

睦夫 〔株エクスプラン取締役社長  
第3回全国都市緑化フェア懇談会委員〕

能美

政彦 〔もりっくらンド運営委員会委員長〕

野村

克彦 〔株そごう神戸店店次長〕

森

哲也 〔ジャズ歌手〕

小松

恵 〔マジカビジョンフェアリーズ〕

中澤

義雄 〔神戸グリーンフェア実行委員会専務理事〕



吉永 睦夫さん



土井 芳子さん

—今回は、花と緑の祭典として開かれるグリーンエキスポ'85の関係者の方々にお集まりいただき、グリーンエキスポの意義、緑の重要性、さらには博覧会終了後の跡地問題までを含めて積極的活発な意見を伺いました。

★楽しいイベントがいっぱいのグリーンエキスポ'85

中澤 グリーンエキスポは国の緑化施策の一環として、計画され、過去2回、大阪府部緑地公園と東京日比谷公園で開催され、花と緑のフェアとして、成功を収めました。その第3回目が、今年7月21日より11月4日まで神戸総合運動公園で盛大に開かれるわけです。

この運動公園は、時を同じくして行なわれる学生のオリンピックユニバーシアード会場でもあり、ユニバ期間中は、花と緑とスポーツが一堂に楽しめることになりそうですね。

このグリーンエキスポ'85が神戸で開催される背景には神戸市が昭和46年より進めてきた、グリーンコウベ作戦があります。今年、昭和60年はその15年目の節目でもありユニバーシアード神戸大会の盛り上げ、最近開発めざましい西神戸地区のより一層の発展をめざしてグリーンエキスポ開催が企画されたんです。

そして、吉永先生に参加していただき基本計画を立てていただきました。

吉永 私は、神戸の持つハイカラでスマート、さらに国



中澤 義雄さん



小松 恵さん



森 哲也さん



野村 克彦さん



能美 政彦さん

際性イメージを自分なりに意識して全体構想を考えましたね。神戸はもともと緑、自然に恵まれていて、市民は緑とともに暮らしています。ですから、この土地柄をそのまま、生の生きた形で見せることが大切なのです。

これまでの博覧会は、会場を歩き回ってただひたすら疲れて家へ帰るのが常だったのですが、グリーンエキスポは会場へくれば心身がリフレッシュされ、ほどよく疲れる博覧会場となるよう、ゆったりと遊べるヒューマンな会場づくりをめざしているんです。

中澤 では次に私からそのゆとりある会場を簡単に案内します。

グリーンエキスポ会場は、シンボルゾーン、テーマゾーン、ウッドランドゾーン、ファンタジーゾーン、アドベンチャーゾーンの5ゾーンに分かれています。

まずシンボルゾーンですが、中心はゾーン西側の野球場で、西武球場のように半掘り込み式で外野に50〜60に区割りした大花壇を作り、シンボルマークやささまざまな形に花を飾ります。内野グラウンドは芝で、内野席は2000人収容可能です。テーマゾーンは、グリーンエキスポのテーマである花と緑に焦点をあてたゾーンでテーマ館、民間パビリオンを中心に構成されています。

また、このゾーン内に設けられた水上ステージでは「ポピュラーコレクションIN KOBE」などの楽しい各種イベントを予定しています。この水上ステージのある人工池の水深は10〜30 cmくらいにしています。というのは、グリーンエキスポ期間中が夏から秋にかけてであるため、子供が池に入って遊べるようにしてるんです。「森の国」とよばれるウッドランドゾーンは、自然林を生かした散策路をつくり、中国の珍獣で孫悟空のモデルといわれる金絲猴舎や小さな馬、果下馬の小屋などを回遊できるようにしています。果下馬は子供が乗れるように調教中なんです。

日本初登場の遊具も揃えた遊園地「もりっこランド」のあるファンタジーゾーンは、お客さんに自ら参加して



体験していただけるゾーンなんです。最後のアドベンチャーゾーンは、陸上競技場背面の丘につくられており、ゾーンの一角に、遊びを通して子供の創造性を豊かにするアスレチック風施設「アソボット」を設置しています。丘の上にあるこのゾーンは、色とりどりの花が咲くグリーンバラダイスのような雰囲気になりたいですね。能美 私は「もりっこランド」を担当しておりますが、全日本遊園施設協会へお願いし、グリーンエキスポにマッチした健康的オリジナル遊具を出展していただきまして。当遊園地の目玉はなんといっても、日本初登場の「フライングスイング」でしょうね。単純に言えばブランコなのですが、こいでいくと360度回転するんです。必ず満足していただけると思います。その他にも「もりっこランド」には、高さ3mのレール上を自転車が走るサイクルモノレール、手漕ぎのトロッコ、「ボンピング



グリーンエキスポ'85会場図

ログ」360度のスクリーンに映像が映し出される「ダイノラマ360」など、13機種19種類の遊具を用意します。

子供から老人までオールゼネレーションで体を使って、健康的に遊んでいただきたいと思います。

野村 私どもそこは、テーマゾーンにパビリオンを出展しますが、神戸市からの要請もあり、ふるさとをテーマに、映像と模型で各県に伝わる木や紙を使った技術を紹介するんです。また、パビリオンは、グリーンエキスポにびったりの民家で、屋根には8〜10mもある天狗の面をあしらっているんです。なぜ天狗にしたかといいますが、天狗は、牛若丸に剣術を教えたとか、天狗からいろいろ技術的な教えを受けたといった伝説が多く伝わっているからです。他にはないユニークな建物になりますよ。また、当パビリオンでは地方物産展も企画しており、生きた情報をお届けします。

森 テーマゾーンの人工池に設けた水上ステージで繰りひろげられるイベントの一つとして、7月21日〜11月4日までの毎土・日曜日に「ポピュラーコレクションIN・KOBÉ」が行なわれるのですが、私はその出演者の一人なんです。このイベントは、神戸市、兵庫県で活躍中の地元アーティスト、滝えり子さん、風かおるさん、堀郁子さん他、約20名の素晴らしいライブショーで構成されており、出演者各自の個性を存分に発揮できるように一人一時間、一日2回のオンステージ制を採用しているんです。

また、参加者は全員ボランティアで、平素活躍の場が少ないアーティストに活躍していただくわけです。

中澤 水上ステージの客席数は、1000席ですが、周りからも見ることも可能で、2000人〜3000人の観客が見ることができそうです。

森 なんといっても緑あふれる会場でコンサートできるのが楽しみです。

土井 きつと普通のコンサート会場とは違う感動が聴く人に起こると思います。

小松 かなり盛り上がるでしょうね。でも、私の出演する「KOBEMAJICABIZYONシアター」もそれに負けないくらい楽しいイベントですよ。映像とお芝居をミックスした神戸が舞台の連鎖劇形式になっていて、ロック王国の女王・ロッコがふと旅に出て立ち寄った神戸でアジサイの精アッコと出会い、彼女の案内で神戸の街を見学している間に、緑の大切さを教えられ、砂漠と岩ばかりのロック王国も森に囲まれた国にしようと、彼女は帰っていくというストーリー。1回15分の上演時間で、私を含めて8人のメンバーが交替でロッコ女王とアッコを演じます。舞台演出は、辻井康一さんで、たいへん厳しい指導の下、練習に励んでいますので、必ず感動的ショーをお見せできますよ。演技はまかせてください(笑)。

中澤 マジカビジヨンに応募した理由は何ですか。

小松 昨年10月にオーディションがあったのですが、芝居は大好きで、簡単な説明を聞いてぜひやりたいと思ったんです。オーディションに合格した時は、すごくうれしかったですね。

土井 グリーンエキスポでは楽しいイベントが見られそうですね。でも、博覧会へ行っても思うんだけどおいしいレストランが少ないのね。この会場には、質のいい食堂があるのかしら。

中澤 中央ゲート付近にレストランをつくり、ウッドランドゾーンの南側園路沿いに峠の茶屋を設けます。

野村 博覧会の食堂はどうしても量をさばかないといけない。だから早く作って、早く人を回転させようとする。味の方まで気をつかうゆとりがないんです。

森 食堂とはちがいますが、日本の博覧会の場合、露店商人が周りの雰囲気壊している場合が多いですね。行政の指導で店をもう少しおシャレにできないものではないか。

土井 そうですね。それと会場で神戸ワインも販売すればいいと思います。

中澤 テーマ館でのワイン販売を考えています。

小松 「KOBEMAJICABIZYONシアター」の中にもワイン工場が登場するんですよ。

★グリーンエキスポ終了後は、リゾートゾーンに中澤 このあたりで、グリーンエキスポ終了後の跡地利用について触れてみたいと思います。まず、大花壇で飾られた野球場は、そのまま3万5000人収容の球場となり、プロ野球公式戦もここで観戦できるかもしれません。そして、テーマ館は、内装を全面改装し、体育館と



本邦初登場の金緑猴とフライングスインガー





して利用します。また、金絲猴は中国へ返されますが、建物はそのまま残して利用し、アーチェリー場、球技場などスポーツ施設も充実させ街のリゾート地として発展させたいですね。

ただ一つ残念なのは、「もりっこランド」は会期終了後取り壊わされることになっていることです。

吉永 「もりっこランド」を遊園地として残すにはあまりにも狭すぎるんですよ。今の面積の10倍くらいの土地がないとダメなんですね。「もりっこランド」はグリーンエキスポの盛り立て役なんです。

土井 リゾート地にしたいというお話がありました、宿泊施設がないので、もりっこランド跡地に建ててほしいですね。

森 国際都市神戸にふさわしく、YMCAのようなものでもいいね。

土井 近くには学園都市もあるし、ぜひともここに学生の研修センターをつくるべきですよ。

小松 私は、最近、女の子の間で神戸ブームが湧き上がっている、若い女の子にうける花に囲まれたかわいいうペンションがいいですね。神戸には、身近なところにペンションがないんですよ。街からも近くて、木々に囲まれた、こんなところに泊まれたら最高だなあ。

土井 温泉もあればいいことないのね(笑)。

野村 僕は、そういう宿泊施設をつくった上で、ゲートボールの全国大会会場にしたらどうかと思う。ゲートボールは、老人も若者も一緒に楽しめるスポーツでしょ。総合運動公園にふさわしいんじゃないですか。

森 それもいいアイデアですね。でも、スポーツばかりでなく文化施設もほしい。僕は、王子動物園をここへ移転してはどうかと考えます。現在の動物園は町中にあるので空気や周りの環境もよくないので、動物がかわいそうですね。グリーンエキスポ跡地だったら、森に囲まれて空気もきれいなので、動物の健康にいいと思います。

土井 動物園の跡地は、もちろんカルチャーセンターで

ですね。図書館や近代美術館があるので、文化ゾーンとして整備できますよ。

森 跡地はやはり文化施設あり、スポーツ施設あり、宿泊施設ありといった大リゾート地として整備してほしい。

吉永 博覧会に来た人は、いろんな思い出や知識を持って帰ると思うんです。だから博覧会終了後は、リゾート地として整備しつつ、記念公園として特徴を持たせてほしいですね。

#### ★緑の大切さを身をもって体験できる

##### グリーンエキスポ場

土井 都会のすぐ近くに緑に囲まれたリゾート地があればほんとうにいいですね。神戸の街はいままでそここんなに緑が豊富ですが、私が小学生だった頃は、六甲山なんて木が今ほどなかったんですよ。それを、市民全員が協力して植林したおかげで現在の姿になったのです。

小松 神戸の街って、自然と街がうまく溶け合っている感じで、実にステキな街ね。

森 神戸は、一人当たりの公園面積が全国一なんです。

土井 これからも市民の一人ひとりが緑の大切さを自覚し、もっと緑多い街にしてほしいと思います。

野村 隣家との垣根をコンクリートからいけ垣に変えていくとかね。これには、市から援助してくれるんですよ。

中澤 緑は、暮らしにゆとりを与え、人間性を豊かにすると思います。昭和60年を新緑化元年にして「緑」についても一度市民の方々が考え直し、神戸のみどりをふやしていつてほしいですね。そのためにもぜひグリーンエキスポに来ていただき、花と緑に溢れる会場で一日を過ごし、自然を体験しながら「緑」について学んでほしいですね。

△ブランドウブランにて▽

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区港島中町 6-3-2  
TEL (078) 302-3321

株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市中央区三宮町 1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

株式会社南インターナショナル

代表取締役 南 泰吉  
神戸市中央区浜辺通 5丁目 1-14  
神戸 商工貿易センタービル1701  
TEL (078) 232-1301



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の  
企画は以上3社の提供によるものです。



## 経済ポケット ジャーナル

### ★銀行ビル新築ラッシュ

三井銀行も61年5月完成  
大正八年から石造りの銀行として親しまれてきた三井銀行（藤本克之神戸支店長・中央区西町35）は、建物の老朽化に伴い、昨年六月中旬から新築中。

約千二百平方メートルの敷地に地下一階、地上八階建て、延べ八千七百平方メートル。一、二階が三井銀行、三階から上はテナントが入居する。山東春海同行神戸支店次長は「前の建物は銀行業務を主としたもの。今度はお



完成予想図

客様  
本位  
にな  
りま  
す。六

十一年五月の予定。

★成長企業「リクルート神戸ビル」完成間近  
情報産業として急成長の



株リクルートの新ビル「リクルート神戸ビル」（田中勝神戸支社長・中央区江戸町95）の建設も佳境、三月末の竣工も目前となった。



完成も間近

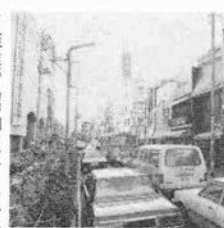
約千七百平方メートルの敷地に地下二階、地上十三階建て、延べ一万四千五百平方メートル。テナントビルだが、一階

には神栄石野証券が入居する準備を進めている。神戸市役所に近い目抜き通りに映える反射ガラスの壁面、新しい「神戸の顔」になりそうな勢いである。

★国鉄芦屋駅周辺再開発

芦屋といえば高級イメーじだが、国鉄芦屋駅周辺は狭い道路や商圏の密集など立ち遅れが目立つ。芦屋市

は昭和四十五年度から「国鉄芦屋駅前地区整備計画」



密集が目立つ

を推進。昭和五十八年十一月には駅の西地区が「アルパ芦屋」として完成、マンションとショッピングゾーンに整備された。

現在は駅前北ブロックを整備中、昭和61年秋には駅前広場の確保、ペデスリアンデッキを採用した合理的なビルに生まれ変わり、芦屋らしい駅前になりそう。

★博愛会広野高原病院増改築完成

肺結核の療養所として出発し、三十年を費した医療

法人、博愛会広野高原病院（西区北山台三一一一）が増改築、一月二十六日に竣工披露をした。

安田俊吉同院長は「創設者の故安田寛之の遺志を継いでようやくここまで来ました。実績を踏まえて一層努力をしたい」と身をひき締める。

リハビリテーション設備も関西では先駆、一層の設備充実発展を続ける西神地区の住民にとってはこの



安田俊吉院長（左端）を囲んで

上なく明るいニュースといえる。

### ★KOBEOフィスレディ★

浅井 尚子さん(25)  
〈リミット・アンド・カンパニー〉  
〈リミット・テック〉



冬場は船舶の英文タイプやワープロのデスクワーク。観光シーズンに入ると船客サービスの「船客課」。「季節にメリハリがあって自分に向いた仕事」とニコリ。上司からも素直で明いと太鼓判。「英文の反動で書道を習ってます」。男性は物事にこだわらないスケールの大きな人がタイプとか。明石市在住。



小山乃里子の  
華麗なる男のインタビュー

■第3回

谷川 浩司 名人

理解があつて関心が  
ないお嫁さんがいい

六つ全部とっても名人一つにはかなわない」と。

谷川 それはイロイロ見方がありましてね。他の六つ得ても名人一つの方がいいという人もいますし、他のタイトル三つと名人位とが同価値だという人もいます。

ただ歴史的にみても、名人を決めるシステムが他と違うというのがあります。将棋界には奨励会を卒業した四段以上が百二十人ぐらいいるのです。名人戦以外のタイトルは四段以上の者なら予選を勝ち抜くことによつて奪取することができます。ですから四段になって一年でタイトルを取ることが可能です。しかし名人戦の場合は、八段以上の十名で争う。ベストテンにしなければ駄目なのです。しかも四段から八段になるまで、最短でも五年かかるシステムになっているのです。

——ワァー!!大変ですね。それであなたが四段になったのはおいくつですか。

谷川 十四歳のときです。四段になれば給料や対局料がもらえることになります。

——いわば中学二年で成人式を迎えたようなもの。

谷川 そうですね。その頃からお金を儲けていたという非常に悪い子供です(笑)。

——逆にいえば親孝行だったわけだ。

谷川 そういつていただけますと(笑)。

——二十一歳のときに名人になって、ずいぶん騒がれた

——ここんところの成績はどうなんですか。

谷川 昨年末の王将戦の挑戦者リーグで負けてしまひまして……。挑戦者が三人四勝二敗の同率で、同率決戦で中原誠先生に敗れたんです。

——名人というのは全部勝つんじゃないんですか。

谷川 (苦笑して) イヤア、そういうわけでも(笑)。

——去年のお正月でしたね。名人が出てゐる歌合戦で私も審査員をやらせていただきました。あのときヒドいことを言つたのよね。歌は内藤(国雄)さんの方がうまいわねって。

谷川 だってホントのことですから(笑)。ずいぶんアガつてしまつてヒドかつたんですけど、今年の正月も凝りずにまた出ちやいました。

——一回目の歌がなんだっけ。

谷川 アリスの「チャンピオン」でした。

——審査員にチンペイ(谷村新司)が来てたんだ。

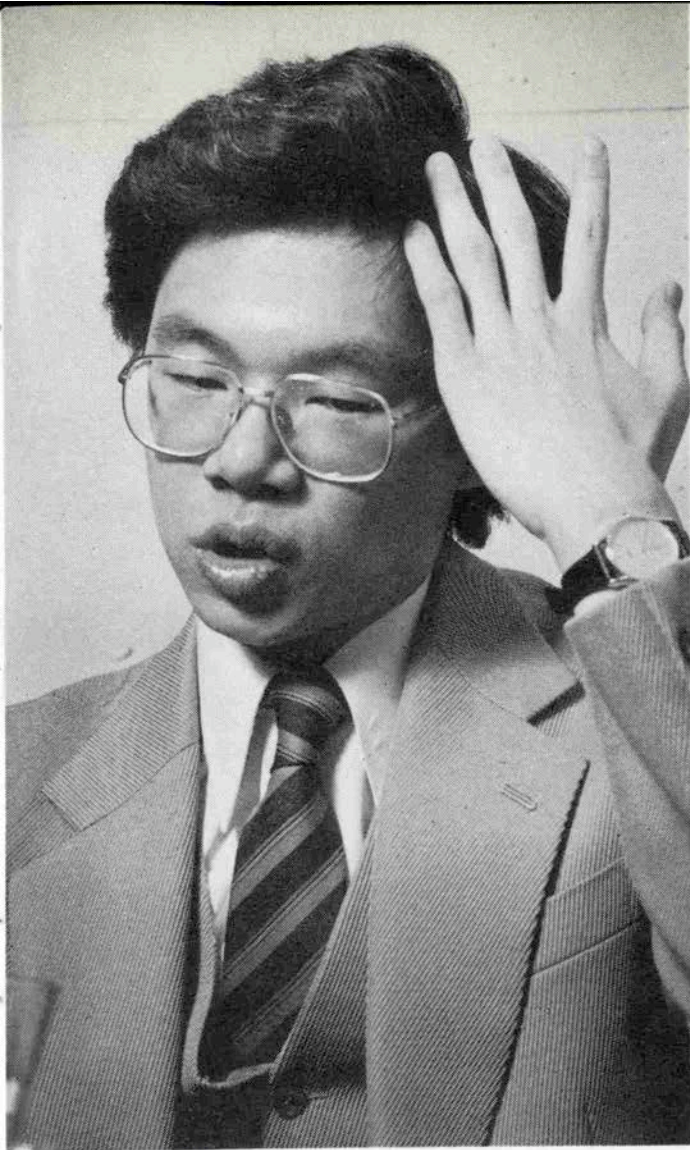
谷川 ゴマすつたわけでもないんだけど、何となくつまらない意地をはったりするんですよ(笑)。

——名人がチャンピオン歌うのもシャレになっていいじゃない……。将棋を余り知らない人間は「名人」というのがどれだけ偉いものかピンとこないのよね。

谷川 本人もピンとこないんですけど(笑)。

——内藤さんに聞いたら「タイトルは七つあるんだけど





「四段になったのは14歳。14歳のときから給料や対局料でお金を儲けていた非常に悪い子供です」とユーモアたっぷりな谷川名人。

ね。神戸から最年少名人誕生……。かれこれ二年ネ。

谷川 そうですね。また四月から防衛戦が始まります。

これは七番戦でして、十日に一局のペースですから、四月から六月までかかります。

———。それはやっぱりどっかの温泉地とか……。

谷川 ええ各地をまわってですね。予選の場合は東京と大阪の将棋会館でやるんですけども。

将棋指しの場合、この世界を説明していくことに時間がかかるんですね。どんなふうに生活しているのかとか、将棋指しがお金になることと自信じられないとか。

———。実際どこからお金が出るんですか。

谷川 名人戦の場合は、毎日新聞と将棋連盟の契約で成立してるんですね。知りたい方は毎日新聞を読んで下さいとなるわけです。タイトル戦などは賞金を公表したりしてませんか判りにくいですね。朝日新聞には「全日本プロトーナメント」といって優勝賞金をはっきり明示されているもあります。マア、将棋の場合は出場す

れば対局料が出ますし、勝っていけば対局が増えます。

一般の人はなかなか理解できないのか「どうして材木運びにお金が出るのか」っていわれますけど（笑）。

———。まったくお暇なときはどうされてるんですか。

谷川 暇がありそうでなんだかんがあるんですね。取材とか今日みたいな対談もそうですし、アマチュアの将棋の普及の仕事もありますし。それと家で原稿を書くことも多いんです。将棋の雑誌に自分の将棋の解説をしたり、最近は週刊現代に月二回、二ページ書いています。アレコレで月に五十枚ぐらい書いています。

———。原稿を!? 五十枚!? すごいネ、これはまた……。

谷川 一番最初に依頼されたのが四段になってすぐですからもう七、八年。だんだん馴れてきましたね。

———。書くのは将棋のことばかりですか。

谷川 だいたいそうですけど、週刊現代は半分エッセイ半分将棋の解説といったところですね。

———。でも、あなたが名人になってから小中学生の励みに

なったんじゃないの。

谷川 ウーン、どうでしょうか。でも同世代のプロ棋士の発奮材料になったのか、五、六段の若い人がタイトル挑戦者になったり、タイトルホルダーになってますね。

——アア、やっぱりね。女流棋士はどうなんですか。

谷川 昔は将棋といえば男だけでしたが、十年ぐらい前から女流棋士が出てきて、今は十五人ぐらいいますね。将棋の普及の面では大変意義があることだと思います。

しかし実力の点では男とかなり差があります。女流棋士のトップとアマチュアのトップと勝負をしても、まだ男性アマチュアの方が勝つでしょう。マラソンにしろ、社会にしろ女性の進出は目立っています。将棋界ほど



時間を忘れて将棋談議に花が咲く。

はつきり実力の差がある世界はないでしょう。トップ棋士の林葉直子さんと「飛車落ち」のハンデで二回ほど戦いました。が、二回とも戦ちましたから。

——「飛車落ち」といえば最高のハンデでしょ？ ウーン。私の父親が囲碁のアマチュア四段でしてね。親睦の意味でヨーロッパまで遠征したりしてたけど、将棋はどうなんですか、海外普及とかは？

谷川 チェスが将棋なんですよ、言ってみれば。アメリカ、ヨーロッパ、ソ連……。中国には中国将棋があります。ただ、似ているゲームがあるから普及しないのではなく、似ているから覚えやすいと思います。現にア

マチュア四段なども増えていますし。しかしプロ棋士になるのは難しいでしょうね。やはり小学生ぐらいから覚えて、ずっと続けていく必要がありますからね。

——日本の将棋人口はどれくらいいるんですか。

谷川 公称は二千万人といっていますね。将棋の場合は自分で指すファンは多いけど、プロの将棋を学ぼうというゲームではなかったんですね。例えばプロ野球なら目で見て技術の素晴らしさを堪能できますが、プロ将棋はなかなか理解できないところがありますから。

——話は変わって、お嫁さんにするにはどんな人がいいですか。プロ野球なんかだと、奥さんは野球を知らない人の方がいいと聞きますけど。

谷川 それより将棋を知ってる女性はそんなにいませんから（笑）。ただ、勝ち負けで一喜一憂される方はチョット……。負けたときに一緒になって深刻になってもマズいです（笑）。ですから「理解を示してくれて、かつ関心がない」といううちよっと難しい要求ですね。

——私みたいに、名人は全部勝つもんだというのもあるんだわね（笑）。

谷川 対局中に負けが見えてくると、まずそこで気持ちを落着けるようにしますね。投了後、感想戦といってお互いの勝負を振り返って話し合い、気持ちを整理します。それからお酒を飲みに行ったりで、家に帰るときは負けた気分を持ち帰らないようにしています。だから帰ってから「負けたの？」といわれると……（笑）。

——二人で深刻になるとマズいわね……。さて四月から防衛戦が始まるんだけど、勝負師として一番大事なことは何かしら？執念深さかな？

谷川 私は執念深さの代表ですか（笑）。やっぱり将棋が好きでないとできないですね。好きであれば努力できるし、その努力が苦にならないですね。イヤであれば努力しないし、努力しないと弱くなるのでしようね。

——防衛戦ではがんばって下さい。

（北野坂コーナールハウス「VIEW」にて）